

# 平成 30 年度「つながる食育推進事業」成果報告書

受託者名	三重県教育委員会事務局			
モデル校名称	東員町立 東員第二中学校	東員町立 笹尾西小学校	東員町立 笹尾東小学校	東員町立 城山小学校
対象学年及び人数	全学年（286人）	全学年（183人）	全学年（208人）	全学年（166人）
栄養教諭等の配置	平成 19 年	4校兼務で指導にあたっている。		

## 1 取組テーマ OMIGO-TOIN!! ☆『生きる力』につながる食育プロジェクト！

東員町では、平成 25 年度より「東員町 16 年一貫教育プラン」の中に、6 年生による「弁当の日」の実施を掲げ、取組を進めている。

しかし、プラン開始から 5 年が経ち、「弁当の日」への意欲が停滞し、受動的な取組になる傾向がある。また、食に関する指導が、栄養教諭等に任せきりになる、取組が単発的になり、児童生徒の行動変容にまで至らない等の課題が挙げられた。

そこで、全教職員が主体的に関わり、教育活動全体で取り組むための体制整備とともに、教職員の食育指導力の向上を図ることとした。

また、「東員町 16 年一貫教育プラン」は、胎児から中学校卒業までの 16 年間の各発達段階に応じた学びを大切にしている。そこで、モデル校を東員第二中学校区内の小中学校とし、交流を図ることで、途切れのない食育の実践を目指そうと考えた。

以上のことから、次の 3 つの柱を中心に取り組んだ。

- |                                |
|--------------------------------|
| ① 食育指導体制の整備及び教職員の指導力の向上        |
| ② 子どもの食に関する興味・関心の高揚及び自己管理能力の育成 |
| ③ 家庭や地域との食を通したつながりの醸成          |

## 2 推進委員会の構成

委員長：磯部 由香	三重大学教育学部教授	増子 建也	城山小学校	P T A 代表
委員：阿部 稚里	三重短期大学准教授	萩原 明日香	三和小学校	学校栄養補助員
井上 征樹	東員第二中学校 校長	日置 貴久	東員町教育委員会学校教育課	課長
大竹 菜月	" 栄養教諭	太田 恵理	"	主幹兼課長補佐
多湖 利昭	" 教諭	伊藤 隆康	"	主幹兼指導主事
前田 満理	" P T A 代表	小川 万知代	"	栄養士
土岐 まゆみ	笹尾西小学校 校長	瀬木 千浪	笹尾東幼稚園・笹尾第二保育園	園長
山本 真澄	" 養護教諭	安藤 裕之	東員町学校給食センター	所長
江尻 淳	" P T A 代表	田中 豊	" 建設部産業課	課長補佐
野々 文彦	笹尾東小学校 校長	中村 徹也	" 福祉部健康づくり課	課長補佐
多湖 夕貴	" 養護教諭	藪中 一浩	三重県教育委員会保健体育課	班長
今泉 愛	" P T A 代表	岸根 美絵	"	充指導主事
伊藤 いずみ	城山小学校 校長	堤 博江	"	充指導主事
水野 笑花	" 教諭			

### 3 連携機関及び連携内容

連携機関名	連携内容
三重大学教育学部家政教育講座	推進委員会助言、食育授業助言
三重短期大学生活科学科	推進委員会助言、アンケート集計・分析
モデル校PTA	PTA活動との連携・協力 (広報誌への掲載・講演会の開催等)
給食食材納入業者、給食調理員	出前授業、給食試食会における指導助言等
J Aみえきた農業協同組合	指導助言等
ラッキータウンテレビ、読売新聞	食育・学校給食に関する取組の発信
東員町教育委員会	各団体との連絡調整、指導助言等
東員町幼稚園保育園長会	各取組の協力・連携、指導助言等
東員町建設部産業課	外部団体との連絡調整、指導助言等
東員町福祉部健康づくり課	指導助言等

### 4 取組前のモデル校の状況

#### 【東員第二中学校】

##### ○これまでの食育の取組状況

家庭科の学習と関連させ、「弁当の日」の実施や朝食メニューコンクールへの応募等の取組を行っている。また、保健美化実行委員会では、生徒主体の取組として、残食調べを実施している。さらに、食に関する指導については、学級担任と栄養教諭のTTによる授業を各クラス年1回実施している。

##### ○学校の課題

朝食摂取について、「食べない」と回答した女子は3.6%で、全国・三重県平均より高い。また、女子の高度肥満が3.6%、軽度肥満が5.5%と全国・三重県平均より高い。(平成29年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査より)さらに、給食のメニューによって残食が増えることや、地域の食材を知らない生徒が多いことも課題である。

このことから、朝食を含めた食事の重要性や適切な量について学習し、望ましい食習慣を身に付けていくことが必要である。これらのことは、家庭での食生活が大きく関わることから、弁当や朝食作り等、家庭と連携した取組を意図的に設定し、保護者の協力を得ながら進めていく。また、生産者等との交流や給食を活用した指導を充実させることで、地域の魅力を知る機会とする。

#### 【笹尾西小学校】

##### ○これまでの食育の取組状況

理科や総合的な学習の時間に、地域ボランティアの協力を得て、栽培から調理までの一連の体験活動の他、2年生において、給食センター見学を実施している。さらに、学級担任と栄養教諭のTTによる食育授業を各クラス年2回実施している。

##### ○学校の課題

「健康に食事は大切」だと考える男子は84.6%であり、全国・三重県平均より低い。また、男子のやせが7.1%と全国・三重県平均よりも高く、女子の高度・軽度肥満はそれぞれ7.1%と全国・三重県平均よりも高い。(平成29年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査より)

このため、食事の重要性を学び、望ましい食習慣及び規則正しい生活習慣を身に付ける必要がある。さらに、食に関する指導を児童の実生活に生かすために、継続的な指導と、家庭との連携を図る。また、学習効果をより一層高めるために、学級担任と栄養教諭のTTによる授業について、授業設定も含めて工夫する必要がある。

### 【笹尾東小学校】

#### ○これまでの食育の取組状況

「苦手な料理も一口は食べる」「朝食をしっかりと食べる」等、少し意識することで達成できるような目標を決めて、実践する「笹っ子ちょいアップ」を年2回設定し、PTAと連携して取り組んでいる。さらに、学級担任と栄養教諭のTTによる食育指導と給食指導を各クラス年2回実施している。

#### ○学校の課題

「朝食を毎日食べる」と回答した男女は67.8%、「健康に食事は大切」と考える男女は73.6%であり、全国・三重県平均より低い。（平成29年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査より）さらに、朝食を摂取していても、主食のみの場合もあり、そのような児童が体調不良で保健室を訪れる現状がある。

このため、食への興味・関心を高め、朝食をはじめとした食事の役割や栄養バランスのよい食事をすることの重要性を学ぶとともに、各家庭において実践できる力を育てる必要がある。また、ゲストティーチャーやボランティア等の外部講師を招き、様々な人との触れ合いの中で学びを充実させ、児童の食への興味・関心を高める。さらに、各家庭で実践の機会を増やすために、ワークシート等を工夫し、家庭と連携した取組にすることで、学びの定着を図る。

### 【城山小学校】

#### ○これまでの食育の取組状況

年3回「生活習慣づくりの取組」として、朝食を食べることや、バランスよく食べること等について、家庭での点検活動を実施している。また、6年生は家庭科で「みえ地物一番給食の日」についての学習をもとに、食への興味・関心を高める目的で、給食クイズを作り、下級生に出題する等の取組を行っている。

#### ○学校の課題

「朝食を毎日食べる」女子は72.7%であり、全国・三重県平均より低く、「夕食を食べない日もある」男子は16.7%であり、全国・三重県平均より高い。（平成29年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査より）さらに、朝食を摂取していても、「赤・黄・緑のバランスの良い食事を摂る」児童は61.9%（校内アンケートより）であることから、食事の役割や栄養バランスのよい食事の重要性について学び、家庭と連携しながら、望ましい食生活及び規則正しい生活習慣を身に付ける必要がある。

また、食に関する指導については、栄養教諭が中心となる傾向があることから、日々児童と関わる学級担任が、家庭と連携し、継続的な指導に取り組むことで、児童のよりよい食生活及び生活習慣の習得につなげることができると考える。

## 5 評価指標の設定について

### (1) 共通指標について

- ① 児童生徒、保護者の食育に関する意識に関すること
    - ア 朝食を食べることへの価値
    - イ 共食をすることへの価値
    - ウ 栄養バランスを考えた食事をとることへの価値
    - エ 食事マナーを身に付けることへの価値
    - オ 伝統的な食文化や行事食を学ぶことへの価値
    - カ 衛生管理の重要性について学ぶことへの価値
  - ② 朝食を欠食する児童生徒の割合
  - ③ 児童生徒の共食の回数
  - ④ 栄養バランスを考えた食事をとっている児童生徒の割合
- ※ 共通指標は、児童生徒・保護者アンケートによって測定する。

### (2) 独自指標について

- ① 食事作りや後片づけなど食事に関する手伝いをする児童生徒の割合
  - ② 食に関する授業で学んだことを家庭で話題にする児童生徒の割合
  - ③ 児童生徒の食に関する意識に関すること
    - ア 毎日3食（朝・昼・夜）食べることへの価値
    - イ 感謝の気持ちをもって食事をする児童生徒の割合
    - ウ 「感謝の気持ちをもって食事をする」ことへの児童生徒の意識や態度
- ※ 給食の残食量調査と併せて測定する。
- ④ 食の視点を意識した指導や授業展開ができている教職員の割合
  - ⑤ 栄養教諭と関わる教職員の割合
  - ⑥ 保護者に対して、食に関する啓発をする教職員の割合

## 6 実践内容（評価指標を向上させるための仮説（筋道）を含めて）

### (1) 食育指導体制の整備及び教職員の指導力向上

#### ①食に関する授業の充実

モデル校として本事業を推進するにあたり、まず、校長が先頭に立ち、全教職員を引っ張る形で取組が始まった。食に関する指導がどうしても栄養教諭に偏ってしまうという課題を克服するため、各教職員が意識して授業や給食指導等を行うことにした。



～東員第二中学校1年生「給食の献立を考えよう」～

アンケートで、印象に残った授業として、多くの生徒がこの授業を挙げた。グループで給食の献立を考える授業で、栄養バランスはもちろんのこと、旬の食材や地場産物も意識しながら、楽しく取り組んだ。実際に3学期の給食に採用されるということもあり、生徒のやる気が高まった授業であった。

～笹尾東小学校3年生「食べ物のほたらきについて考えよう」～



学級担任が栄養教諭とTTで行った授業の一つである。当日の給食の献立を話題にしながら、バランス良く食べることの大切さに気付かせるのがねらいの授業で、児童と関わる時間が一番長い学級担任の特性を生かし、取り組んだ。

この授業後、給食の残食が減り、食について学ぶことの大切さを学級担任が実感する取組にもなった。

## ②先進地訪問

平成29年度に本事業を受託した瀬戸市立水野中学校を訪問し、今後の食育推進の参考にする目的で実施した。参観した適量指導の取組は、モデル校が挙げる肥満・やせ傾向の児童生徒の食生活の課題解決につながる取組であり、大変参考となった。

このような模範的な食育授業の他、事業が終了した本年度も同様の取組を継続しているということに感銘を受けた。

## (2) 子どもの食に関する興味・関心の高揚及び自己管理能力の育成

### ①「弁当の日」の実施

平成25年度より東員町では、子どもたちの自立を目指して「弁当の日」を実施している。全小学校6年生の児童が年3回取り組んでいる。事前に栄養バランスや献立作成等について学習し、保護者の協力も得ながら実施している。

本年度は、「弁当の日」の提唱者である竹下和男氏を講師に招き、「弁当の日が待ち遠しい」と題して講演会を実施し、意識付けを図った。モデル校の小学校5・6年生、中学生、保護者、教職員を対象に実施した。



～6月18日(月)東員第二中学校体育館にて～



～「弁当の日」の様子～



～児童生徒が作った弁当～

## ②出前授業の実施

給食食材納入業者等を講師に招き、出前授業を実施した。取り扱う食材についての説明の他、仕事上の苦勞や喜びについても話していただき、調理実習を行った。小学校においては、保護者に参加・協力を呼びかけ、取組を知ってもらう機会にもなった。

実施後は、給食の食材を意識したり、講師が経営する店や販売する食品に関心を持ったりする児童生徒の様子が教職員や保護者から届けられた。出会いと調理体験により、食材や生産者、調理者等、食に関わる人々への感謝の気持ちを育む機会となった。

### \*ウィンナーソーセージ作り



～調理作業の説明～

### \*蒟蒻作り



～蒟蒻芋を手にする児童～

### \*豆乳プリン作り



～試食の様子～

## ③給食試食会（給食食材納入業者・給食調理員）の実施

児童生徒と給食に携わる方々との交流を通し、給食について理解と関心を深めることを目的に実施した。

実施後の児童生徒の様子や参加者の感想から、双方がつながる良い機会となった、と実感した教職員が多く、今後も継続したいという声が寄せられた。



～自己紹介と質問の時間～



～会食の様子～

#### ④「みえ地物一番給食の日」の実施

地場産物を活用した学校給食や食育の取組を行うことにより、地場産物に興味を持ち、郷土や食文化に関心をもつための機会とした。

給食放送、掲示物の活用、学級担任による地場産物についての紹介、上級生が下級生にクイズを出す等、各学校において工夫して実施した。

### (3) 家庭や地域との食を通したつながりの醸成

#### ①家庭や地域への啓発

取組を推進するには、家庭や地域の協力が不可欠である。便りを活用したり、学習プリントに保護者がコメントを記入する欄を設けたりするなど、あらゆる機会をとらえ、今まで以上に啓発に努めた。

また、地元のケーブルテレビや町の広報でも取組が紹介された。

##### 【お家の方へ】

★きょう、せいかつで「おはし」のべんきょうをしました。ただしおはしのもちかたをおうちのひとにみせるようにつたえました。みていただきましたら、したの口にメッセージをおねがいします！



#### ②保護者対象の食育講座の実施

三重県立相可高等学校食物調理科 教諭（専門調理師）村林 新吾氏（4名の高校生助手を含む）を講師に招き、調理実習を兼ねた講座を実施した。

「鯛のごま茶漬け」作りを通して、本物の味や料理にひと手間かけることの大切さについて学び、家庭における食育の推進につながる取組となった。



～講座の様子～



～鯛の三枚おろし～

## 7 評価指標の測定結果

### (1) 共通指標について

#### 〈児童生徒〉

【設問】 朝ごはんを食べることは大切だと思いますか。

	小学生				中学生			
	事前		事後		事前		事後	
	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)
思う	494	91.7	493	91.5	257	91.5	241	87.6
どちらかといえば思う	39	7.2	36	6.7	19	6.8	26	9.5
あまり思わない	2	0.4	8	1.5	4	1.4	6	2.2
思わない	4	0.7	2	0.4	1	0.4	2	0.7

【設問】 家の人といっしょに食事をとることは大切だと思いますか。

	小学生				中学生			
	事前		事後		事前		事後	
	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)
思う	447	83.1	417	77.5	189	67.3	189	69.0
どちらかといえば思う	74	13.8	97	18.0	60	21.4	61	22.3
あまり思わない	11	2.0	19	3.5	26	9.3	19	6.9
思わない	6	1.1	5	0.9	6	2.1	5	1.8

【設問】 栄養バランスを考えた食事をとることは大切だと思いますか。

	小学生				中学生			
	事前		事後		事前		事後	
	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)
思う	479	89.4	489	90.7	236	84.0	235	85.5
どちらかといえば思う	48	9.0	45	8.3	44	15.7	37	13.5
あまり思わない	6	1.1	4	0.7	0	0.0	1	0.4
思わない	3	0.6	1	0.2	1	0.4	2	0.7

【設問】 食事マナーを身に付けることは大切だと思いますか。

	小学生				中学生			
	事前		事後		事前		事後	
	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)
思う	464	86.2	465	86.3	240	85.4	240	87.3
どちらかといえば思う	61	11.3	67	12.4	35	12.5	31	11.3
あまり思わない	7	1.3	5	0.9	5	1.8	4	1.5
思わない	6	1.1	2	0.4	1	0.4	0	0.0

【設問】 伝統的な食文化や行事食を学ぶことは大切だと思いますか。

	小学生				中学生			
	事前		事後		事前		事後	
	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)
思う	348	64.6	357	66.4	131	46.6	141	51.3
どちらかといえば思う	158	29.3	146	27.1	100	35.6	103	37.5
あまり思わない	23	4.3	27	5.0	42	14.9	23	8.4
思わない	10	1.9	8	1.5	8	2.8	8	2.9

【設問】 食事（給食）の際に衛生的な行動をとることは大切だと思いますか。

	小学生				中学生			
	事前		事後		事前		事後	
	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)
思う	478	92.6	470	94.2	245	92.5	253	95.1
どちらかといえば思う	34	6.6	26	5.2	18	6.8	12	4.5
あまり思わない	1	0.2	2	0.4	2	0.8	1	0.4
思わない	3	0.6	1	0.2	0	0.0	0	0.0

【設問】 朝食は週に何日食べますか。

	小学生				中学生			
	事前		事後		事前		事後	
	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)
ほとんど毎日	484	92.0	485	91.3	244	87.5	234	86.0
週に4～5日	25	4.8	24	4.5	19	6.8	20	7.4
週に2～3日	12	2.3	10	1.9	8	2.9	7	2.6
週に1日程度	1	0.2	2	0.4	1	0.4	1	0.4
ほとんど食べない	4	0.8	10	1.9	7	2.5	10	3.7

【設問】 朝食を家の人と一緒に食べることはどのくらいありますか。

	小学生				中学生			
	事前		事後		事前		事後	
	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)
ほとんど毎日	341	65.0	292	55.6	112	40.1	106	38.8
週に4～5日	67	12.8	61	11.6	25	9.0	36	13.2
週に2～3日	53	10.1	68	13.0	43	15.4	31	11.4
週に1日程度	20	3.8	30	5.7	23	8.2	11	4.0
ほとんど食べない	44	8.4	74	14.1	76	27.2	89	32.6

【設問】 夕食を家の人と一緒に食べることはどのくらいありますか。

	小学生				中学生			
	事前		事後		事前		事後	
	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)
ほとんど毎日	461	86.3	462	87.5	181	64.6	178	65.2
週に4～5日	39	7.3	36	6.8	56	20.0	47	17.2
週に2～3日	21	3.9	21	4.0	31	11.1	33	12.1
週に1日程度	9	1.7	4	0.8	4	1.4	6	2.2
ほとんど食べない	4	0.7	5	0.9	8	2.9	9	3.3

【設問】 主食、主菜、副菜を3つそろえて食べるのが1日に2回以上ある日は、週に何日ありますか。（学校給食も1回に数えます。）

	小学生				中学生			
	事前		事後		事前		事後	
	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)
ほとんど毎日	364	68.0	328	61.8	175	62.7	181	66.5
週に4～5日	118	22.1	130	24.5	80	28.7	59	21.7
週に2～3日	31	5.8	51	9.6	17	6.1	26	9.6
週に1日程度	13	2.4	10	1.9	2	0.7	1	0.4
ほとんど食べない	9	1.7	12	2.3	5	1.8	5	1.8

〈保護者〉

【設問】今年度の学校における食育の取組を通してお子様の食に関する意識は高まりましたか。

	小学生保護者		中学生保護者	
	(人)	(%)	(人)	(%)
思う	59	16.2	28	12.1
どちらかといえば思う	235	64.4	168	72.4
あまり思わない	58	15.9	27	11.6
思わない	13	3.6	9	3.9

【設問】食に関する意識のうち何が高まりましたか

	小学生保護者		中学生保護者	
	(人)	(%)	(人)	(%)
(ア) 朝食を食べること	126	43.0	111	57.2
(イ) 家族などと一緒に食事を食べる	98	33.3	70	35.7
(ウ) 栄養バランスを考えた食事をとること	172	58.5	127	64.8
(エ) ゆっくりよく噛んで食べる	64	21.8	25	12.8
(オ) 食事マナーを身に付ける	99	33.7	53	27.0
(カ) 伝統的な食文化や行事食を学ぶ	95	32.3	40	20.4
(キ) 食事の際に衛生的な行動をとること	72	24.5	36	18.4
(ク) その他	14	4.8	8	4.1

【設問】今年度の学校における食育の取組を通してお子様の食習慣等は変わりましたか。

	小学生保護者		中学生保護者	
	(人)	(%)	(人)	(%)
思う	33	9.3	19	8.6
どちらかといえば思う	233	65.8	143	64.7
あまり思わない	67	18.9	47	21.3
思わない	21	5.9	12	5.4

【設問】食習慣等のうち何が改善されましたか。

	小学生保護者		中学生保護者	
	(人)	(%)	(人)	(%)
(ア) 朝食を食べる回数が増えた	42	15.8	45	28.1
(イ) 家族などと一緒に食事をする回数が増えた	33	12.4	33	20.4
(ウ) 栄養バランスを考えた食事をとる回数が増えた	130	48.9	96	59.3
(エ) ゆっくりよく噛んで食べるようになった	50	18.8	16	9.9
(オ) 食事マナーを身に付ける	84	31.6	40	24.7
(カ) 伝統的な食文化や行事食について理解した	68	25.6	30	18.5
(キ) 食事の際に衛生的な行動をとること	62	23.3	28	17.3
(ク) その他	20	7.5	6	3.7

(2) 独自指標について

〈児童生徒〉

【設問】家で、食事作りや後片づけなど食事に関する手伝いをどのくらいしますか。

	小学生				中学生			
	事前		事後		事前		事後	
	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)
ほとんど毎日	212	39.7	220	41.5	61	21.8	79	28.8
週に4～5日	100	18.7	123	23.2	54	19.3	33	12.0
週に2～3日	107	20.0	82	15.5	56	20.0	70	25.5
週に1日程度	47	8.8	26	4.9	35	12.5	22	8.0
ほとんどしない	68	12.7	79	14.9	74	26.4	70	25.5

【設問】食に関する授業で学んだことについて、家の人と話をすることがありますか。

	小学生				中学生			
	事前		事後		事前		事後	
	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)
ある	203	38.1	176	33.1	44	15.7	53	19.3
どちらかといえばある	142	26.6	149	28.1	73	26.1	65	23.7
どちらともいえない	54	10.1	65	12.2	41	14.6	51	18.6
どちらかといえばない	62	11.6	67	12.6	46	16.4	43	15.7
ない	72	13.5	74	13.9	76	27.1	62	22.6

【設問】毎日3食（朝・昼・夜）食べることが、健康につながると思えますか。

	小学生				中学生			
	事前		事後		事前		事後	
	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)
とても思う	397	74.2	394	73.8	205	73.5	183	66.8
思う	112	20.9	95	17.8	54	19.4	71	25.9
どちらかといえば思う	16	3.0	33	6.2	11	3.9	12	4.4
どちらともいえない	2	0.4	7	1.3	6	2.2	5	1.8
どちらかといえば思わない	4	0.7	3	0.6	1	0.4	1	0.4
思わない	2	0.4	1	0.2	0	0.0	1	0.4
まったく思わない	2	0.4	1	0.2	2	0.7	1	0.4

【設問】学校給食や食育が、食に関わる人々の様々な活動に支えられていると思えますか。

	小学生				中学生			
	事前		事後		事前		事後	
	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)
とても思う	360	67.5	325	60.9	177	63.2	167	61.2
思う	127	23.8	152	28.5	66	23.6	81	29.7
どちらかといえば思う	29	5.4	42	7.9	23	8.2	17	6.2
どちらともいえない	14	2.6	11	2.1	10	3.6	6	2.2
どちらかといえば思わない	1	0.2	3	0.6	1	0.4	1	0.4
思わない	1	0.2	0	0.0	1	0.4	0	0.0
まったく思わない	1	0.2	1	0.2	2	0.7	1	0.4

【設問】感謝の気持ちをもって食事をしていますか。

	小学生				中学生			
	事前		事後		事前		事後	
	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)
とてもしている	267	49.9	246	46.1	132	47.1	138	50.5
している	141	26.4	179	33.5	102	36.4	97	35.5
どちらかといえばしている	80	15.0	72	13.5	26	9.3	22	8.1
どちらともいえない	21	3.9	16	3.0	15	5.4	9	3.3
どちらかといえばしていない	12	2.2	13	2.4	1	0.4	4	1.5
していない	8	1.5	3	0.6	2	0.7	1	0.4
まったくしていない	6	1.1	5	0.9	2	0.7	2	0.7

【設問】「感謝の気持ちをもって食事をする」とは、どのようなことだと思いますか。思いつくことをすべて書いてください。

	小学生				中学生			
	事前		事後		事前		事後	
	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)
記述あり	500	92.8	502	93.1	274	97.5	270	98.2
記述なし	39	7.2	37	6.9	7	2.5	5	1.8

\*キーワードによる分析（母数：記述あり；複数回答有り）

	小学生				中学生			
	事前		事後		事前		事後	
	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)
生産者への感謝	158	31.6	90	17.9	98	35.8	68	25.2
食材・命への感謝	149	29.8	147	29.3	111	40.5	92	34.1
家族への感謝（料理者含む）	78	15.6	156	31.1	39	14.2	55	20.4
家族以外の調理者への感謝	75	15.0	144	28.7	24	8.8	46	17.0
いただきます、ごちそうさまを言う	128	25.6	141	28.1	78	28.5	112	41.5
残さず食べる	174	34.8	155	30.9	96	35.0	107	39.6
おいしく食べる	0	0.0	16	3.2	0	0.0	17	6.3
食べられることへの感謝	34	6.8	28	5.6	18	6.6	25	9.3

### 〈教職員〉

【設問】あなたは、給食の時間や各教科等において、食の視点を意識した指導や、授業展開ができていますか

	事前		事後	
	(人)	(%)	(人)	(%)
とても思う	1	1.6	12	18.2
思う	13	21.3	27	40.9
どちらかといえば思う	26	42.6	16	24.2
どちらともいえない	11	18.0	8	12.1
どちらかといえば思わない	9	14.8	3	4.5
思わない	1	1.6	0	0.0
まったく思わない	0	0.0	0	0.0

【設問】食に関する取組において、栄養教諭との関わりはありますか。

	事前		事後	
	(人)	(%)	(人)	(%)
ある	37	61.7	55	83.3
どちらかといえばある	16	26.7	7	10.6
どちらともいえない	2	3.3	3	4.5
どちらかといえばない	3	5.0	1	1.5
ない	2	3.3	0	0.0

【設問】保護者に対して、食に関する意識を高めるための啓発をしていますか。

	事前		事後	
	(人)	(%)	(人)	(%)
とてもしている	1	1.7	19	28.8
している	15	25.0	21	31.8
どちらかといえばしている	16	26.7	11	16.7
どちらともいえない	13	21.7	9	13.6
どちらかといえばしていない	9	15.0	5	7.6
していない	6	10.0	1	1.5

### 〈保護者〉

【設問】食に関することで、お子様とどのくらい話をしますか。

	小学生保護者				中学生保護者			
	事前		事後		事前		事後	
	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)
ほとんど毎日	119	30.9	108	30.1	80	32.4	58	25.0
週に4～5日	64	16.6	56	15.6	30	12.1	37	15.9
週に2～3日	90	23.4	88	24.5	60	24.3	73	31.5
週に1日程度	55	14.3	63	17.5	41	16.6	37	15.9
ほとんどしない	57	14.8	44	12.3	36	14.6	27	11.6

## 〈残食量調査〉

- ・提供量と給食センターに戻ってきた残食量を測定し、同じ献立において比較した。
- ・東員町の給食で一番人気のビビンバと汁物、主菜の残食が多い魚料理にて実施した。

献立名	ビビンバ 春雨スープ		ごはん さんまのみぞれ煮	
	実施日	6月27日	11月27日	6月25日
残食率	1.20%	0.40%	8.60%	4.00%

※残食率は、モデル校4校の平均

## 8 成果と課題

### 〈児童生徒について〉

- 「感謝の気持ちをもって食事をする」とはどのようなことかを問う設問に対し、家族や調理に関わる人への感謝の記述があった児童は30.6%から59.8%に、生徒は23.0%から37.4%に増加し、食事の際に意識する幅が広がったことがうかがえた。出前授業や給食試食会を実施したことで、地域の学校給食関係者と児童生徒が出会い、食を通したつながりができたことの成果と考えられる。
- 保護者へのアンケートで、「取組を通してお子様の食に関する意識は高まりましたか。」という問いに対し、「思う」「どちらかといえば思う」と回答した児童、生徒の保護者がそれぞれ80.6%、84.5%であった。具体的には、「栄養バランスを考えた食事をとること」に対して意識が高まったという回答が58.5%、64.8%と最も高かった。児童生徒のアンケートではあまり変化が見られなかったが、学校で学んだことが、家庭での会話に表れたと思われる。
- 朝食摂取、共食については、本年度様々な取組を行ったが、意識と行動、両方においてあまり変化は見られなかった。これらについては、家庭の生活スタイルも大きく影響することから、引き続き、家庭への啓発を工夫していきたい。
- 衛生管理についても、アンケートではあまり変化が見られなかった。これについては、東員町で5年前から実施している一貫教育プランの土台があるため、元々意識が高かったと考えられる。
- 残食量調査において、残食率の減少が見られた。残食率の高い魚料理において、その数値が半減したのは大きな成果である。教職員の給食指導、授業等、様々な取組の成果と考えられる。
- 「家で、食事作りや後片づけなど食事に関する手伝いをどのくらいしますか。」という問いに対し、週に4日以上すると回答した児童が58.4%から64.7%に増加した。このことは、「弁当の日」の取組や調理実習などの体験活動等を通して、食への興味・関心が高まり、手伝いの頻度が増加したものと考えられる。しかし、中学生においては、あまり変化は見られなかった。部活動や習い事で忙しく過ごす生徒が多く、気持ちはあっても行動に移せない状況が影響していると思われる。
- 児童生徒のアンケートで、今年度の食育の授業や取組に関して、印象に残っていることを自由に記述させたところ、調理実習等の体験学習、実感を伴ったりグループで楽しく学んだりした授業、「弁当の日」についての記述が半数以上を占めた。児童生徒の興味・関心を高めるためには、実感や体験を伴う活動を今後も積極的に取り入れていく必要がある。

### <教職員について>

「給食の時間や各教科等において、食の視点を意識した指導や、授業展開ができていますか。」という問いに対し、「とても思う」「思う」と回答した教職員が22.9%から59.1%に増加した。また、「食に関する取組において、栄養教諭との関わりがありますか。」という問いに対しては、「ある」と回答した教職員が、61.7%から83.3%に増加した。さらに、栄養教諭からは、昨年度に比べ、教職員の食育の授業への関りが積極的になったという声が聞かれた。

このように、本年度の事業をきっかけとし、教職員の食育に関する意識を高めることができた。アンケートには、今後さらに意識して「食に関する授業」や「給食指導」等に取り組みたいという記述が半数以上あり、こういった今ある機運を大切に、校長のリーダーシップのもと、継続して取り組むことが望まれる。

### <保護者について>

- 「保護者に対して、食に関する意識を高めるための啓発をしていますか。」という問いに対し、「とてもしている」「している」と回答した教職員が、26.7%から60.6%に増加しているにもかかわらず、アンケートの食育の取組に関する保護者の自由記述で、「取組を知らなかった。」という記述があった。教職員は意識して、便り等で啓発に努めたが、全ての保護者に取組を周知することは難しく、PTA活動や親子での取組を活用するなど、今後も啓発について工夫していく必要がある。
- 保護者対象に実施した食育講座が大変好評であった。早速その日の夕食作りで「本物の味」と「ひと手間かけること」を実践した参加者もあり、取組が子どもたちに返ることになった。このように、家庭での食育につながる講座を今後も実施できるとよい。

## 9 情報発信と普及の計画

- 報告書及びCDを作成し、県内市町等教育委員会及び各小中学校、県立特別支援学校に配付し、取組の周知を図る。
- 学校関係者や食育関係者等を対象にした講習会において、モデル校が本事業の取組と成果等について実践発表する場を設定する。
- 各市町において開催される食育担当者会等を活用し、取組の報告を通して周知・啓発を図る。
- 三重県教育委員会のホームページに掲載し、幅広く取組の周知を図る。